

税務システム等標準化

(帳票W T) 印字項目・諸元表及びレイアウトの見直しについて

令和3年12月

帳票WTの確認事項

○ 本WTにおける確認事項は、以下のとおりです。

#	WT確認事項	概要	ご確認いただきたい資料
1	印字項目の見直し	<ul style="list-style-type: none">• APPLICからの意見を受けて印字項目の種類（実装してもしなくても良い機能）の見直しを進めた箇所について、方針案の内容に問題ないか確認いただく。• 納税通知書（納付書払い）の印字項目について、収滞納側と調整した事項を確認いただく。	02_【1.0版見直し案】帳票印字項目・諸元表_軽自動車税（種別割）
2	帳票レイアウトの見直し（デザインの見直し）	<ul style="list-style-type: none">• 実務的な視点で帳票レイアウトに工夫が必要となる箇所がないかご意見を募る。• 検討に際して参考となる帳票デザインを採用している団体があれば当該帳票サンプルをご提示いただく。• 上記以外の帳票も含めて、調査票でご意見を募る。	04_【1.0版見直し案】帳票レイアウト_軽自動車税（種別割）

帳票レイアウトの見直しについて

- 1.0版でお示している帳票レイアウトについて、実務的な観点でより良いものとするためにWTを通じて構成員の皆さまから改善案のご意見をいただきたいと考えています。
- 標準仕様書で定める範囲はシステム印字部分となりますが、検討のベースとするため、分かりやすさ等の観点で帳票デザインに工夫をされている場合は、帳票サンプルをご提示ください。

背景

- ✓ 帳票レイアウトについて、事務局案をベースに【第1.0版】を公表しましたが、これまで十分な検討期間が確保できなかったことから、今回、改めてWT構成員の皆さまからご意見をいただきます。
- ✓ 特に一部の団体では、文字の大きさや色弱者に配慮する理由から、“あらゆる人が見やすい・分かりやすい・利用しやすいデザイン”を導入していますので、標準化のメリットとして当該取り組みを反映できればと考えています。

前提

【検討対象となるもの】

- ✓ 基本的には、システム印字部分を検討の対象とします。
- ✓ システム印字部分における枠線について、実装時の参考になるように太枠/細枠の粒度で帳票レイアウトを示す想定です。（太さのmm単位までは定義しない方針）
- ✓ 事務局としても、特にご意見をいただきたい帳票として、「デザインを改めて検討する帳票」を選定しています。（p.3参照）

【検討対象外となるもの】

- ✓ プレ印字部分は標準化対象外とはなりません。ただし、見やすさなどで地方団体が参考にできるものは、記載例として仕様書に記載することを検討しています。
- ✓ 税目間で類似した目的の帳票で、共通方針として定義した以下の項目は検討の対象外とします。
送付先、お問い合わせ先、発行者

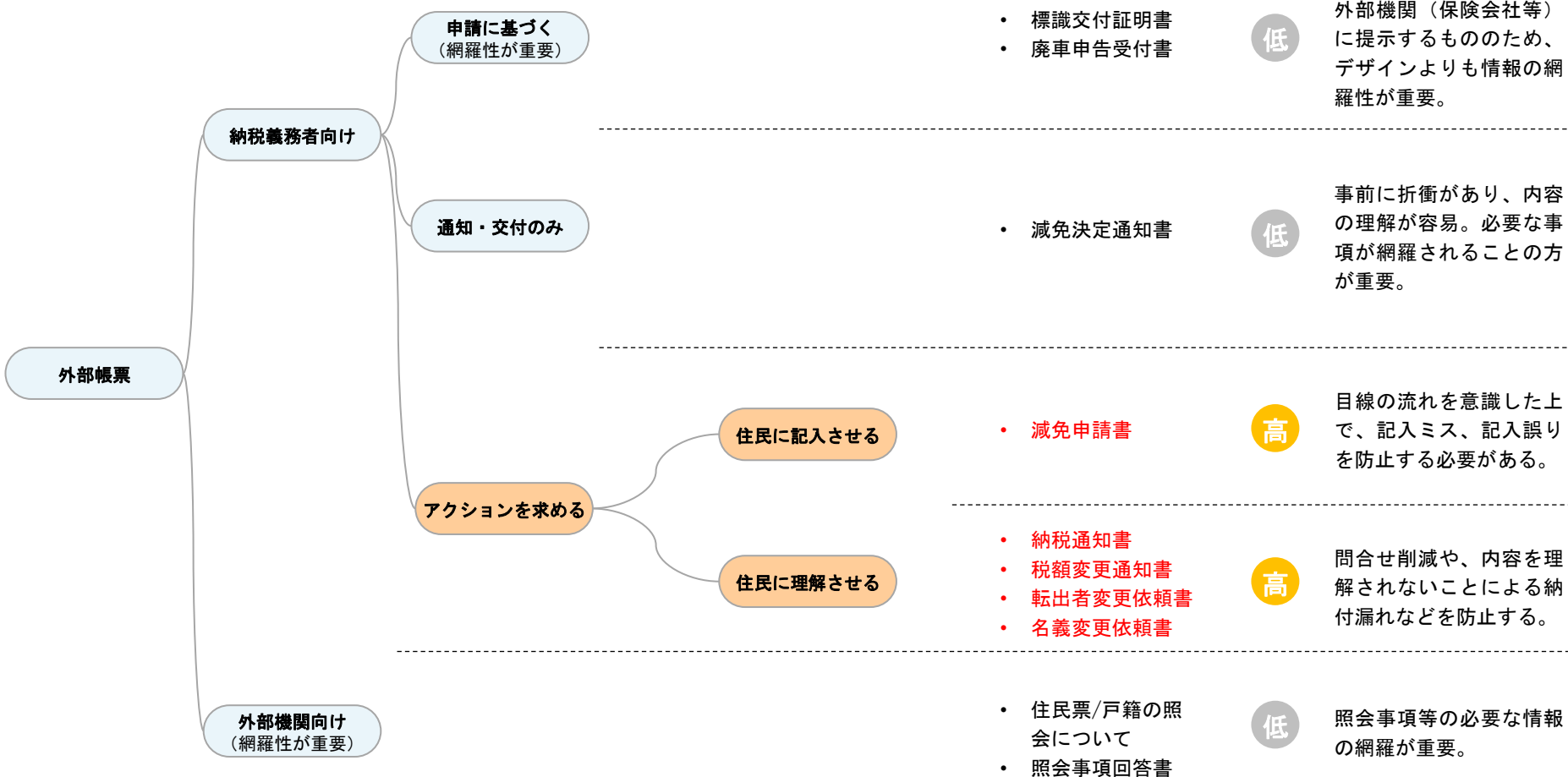
デザインを改めて検討する帳票の選定(事務局案)

- 住民に対し必要事項の記入や理解といった行動を求める性質がある帳票を、特にデザイン検討の重要性が高いものと認識しています。
- 上記を踏まえ、構成員の皆様には特に「減免申請書」「納税通知書」「税額変更通知書」「転出者変更依頼」「名義変更依頼書」の5帳票に対して、重点的にご意見いただきたいと考えています。

帳票の性質によるパターン整理

帳票の例

デザイン検討の重要性



帳票レイアウトの検討プロセス

○ 帳票レイアウトの検討プロセスを、以下に示します。

帳票レイアウトの検討プロセス

① 検討対象の整理

- デザインを改めて検討する帳票の選定。

※検討対象はシステム印字部分で、プレプリント部分は参考として提示する。

- 税目間で類似した目的の帳票における共通方針作成。

- ✓ 送付先
- ✓ お問い合わせ先
- ✓ 発行者

② 構成員への照会

(調査票への回答依頼)

- 実務上の観点から帳票デザインの改善点を募る。(必要に応じてサンプル等を募る)

③ 事務局で検討

- 受領した帳票及びご意見を基に、事務局にて帳票のレイアウトの修正方針を検討する。

④ 合意形成

- 事務局修正案を基に、WT内で修正方針について問題ないか確認する。
- 必要に応じてWEB形式でWTを開催。

検討プロセス

調査の観点

○ 調査の観点として以下の3点をご確認いただき、調査票に意見を記載いただくことを想定しております。

①見やすさ・記入しやすさの観点

市民からの問い合わせや間違えが多く修正した方が良くと思われる箇所などがないか

例)電話番号と住所の記載位置が逆になっている場合が散見されるので、住所欄に「都・道・府・県/市・町・村」欄を作り、市民に○をしてもらうデザインの方が良い。

②事務効率化の観点

職員が確認する・問い合わせで案内する・審査する際に使いにくい箇所など

例)職員の確認の際に型式と原動機型式の見間違いが散見されるので、型式欄と総排気量欄を入れ替えて目線の移動を多くするデザインの方が良い。

NNZ 9年Z 9月Z 9日

例) 減免申請書

999-99999
 ○○県○○市○○町○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 △△△△マンションXXXX号室○○○○○
 ○○ ○○様

〒○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 宛先(提出先): ○○県○○市長様

軽自動車税(種別割) 減免申請書

○○市条例第9条第9項の規定に基づき、下記の通り減免を申請します。○○○○○○○○○
 ○○○

◆減免の申請者

納税義務者 氏名 (所在地)	氏名 (名称) 個人番号 (法人番号)
電話番号	

◆減免を申請する理由(減免申請の種類)
 例1) 1. 身体障害者等 2. 公益専用車両 3. 福祉車両 4. ○○○

例2) 記入欄

◆減免を受ける軽自動車等

車両情報	種別	軽四輪	車両番号 (標識番号)	登録年月日	原動機型式	9999999
	総排気量 (定格出力)	660cc	型式	○○583あ1234	NNZ 1年Z 1月Z 1日	式
用途	○○○	形状	○○○	使用目的	○○○	

定置場 ○○○

所有者

住所 (所在地)	□納税義務者に同じ	氏名 (名称)	
電話番号		個人番号 (法人番号)	

◆身体障害者に係る情報等

障害者	住所	□納税義務者に同じ	氏名	年齢	歳
	障害者 障害者 障害番号 帳番	障害 名称		障害の 程度	
運転者	住所 (所在地)	□納税義務者に同じ	氏名 (名称)		
障害者との関係			手帳の交 付年月日		

(備考)

【お問い合わせ先】
 ●●●市役所 ●民税課 課税係
 XXX-XXXX
 ●●●県●●●市●●● 1-1-1
 TEL 111-1111 (内線1111)

提出期限: NN○○年○○月○○日
 ※必ず上記の期限までにご提出ください。

③実用性の観点

運用する際に印字量が多く、標準仕様書第1.0版の枠で不足する懸念がある箇所など(※諸元表も併せてご確認ください)

例)障がい名の印字量が不足する懸念があるので、障がいの程度欄を狭くし、障がい名の印字量を増やしたデザインの方が良い。

9月以降の標準化検討に係るスケジュール

